

2026 年 10 月 2 日
霞ヶ関キャピタル株式会社

霞ヶ関キャピタルマレーシア、JLG Capital とマレーシアにおける 冷凍自動倉庫等の開発および低温物流インフラにおける事業機会創 出に向けた MOU を締結

霞ヶ関キャピタル株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 CEO：河本幸士郎、以下「当社」）の子会社である KASUMIGASEKI CAPITAL (MALAYSIA) Sdn Bhd（以下「霞ヶ関キャピタルマレーシア」）は、JLand Group Berhad（マレーシア・ジョホール州を拠点とする不動産・インフラ開発企業、以下「JLG」）の子会社である JLG Capital Sdn Bhd（以下「JLG Capital」）と、マレーシアにおける冷凍自動倉庫の開発および低温物流インフラの事業機会を検討するため、基本合意書（Memorandum of Understanding、以下「MOU」）を締結しました。



霞ヶ関キャピタルマレーシアは、本 MOU のもと、JLG Capital とともに、テクノロジーを活用した冷凍自動倉庫や冷凍・冷蔵倉庫における共同事業の可能性を含め、マレーシアの低温物流および冷凍自動倉庫分野におけるさまざまな事業機会を検討していきます。対象となる保管形態は冷凍・冷蔵にとどまらず、温度管理および常温保管まで幅広く含む想定です。この協業では、霞ヶ関キャピタルグループが培ってきた低温物流インフラおよび自動倉庫シ

システムに関する専門知識と、JLG Capital が有する不動産投資・開発のノウハウおよび現地市場への深い理解を組み合わせ、マレーシアにおける次世代の低温物流ソリューションの実現を目指します。JLG にとっても、本協業は専門性の高い不動産・インフラソリューションを検討する取り組みの一環となるものです。

物流・産業インフラに求められる機能が、テクノロジーの進化とともに高度化するなか、それを支える施設側にも進化が求められています。低温物流の分野においても、従来型の保管設備にとどまらず、より高い保管能力・効率性・稼働パフォーマンスを実現できる施設への転換が課題となっています。本協業では、自動化技術を低温物流インフラに組み込むことで、保管能力やスペース効率を高め、物品の移動・管理の効率化を実現する、新たな不動産のあり方を追求してまいります。

この協業においては、霞ヶ関キャピタルマレーシアがプロジェクトの企画・設計、冷凍自動倉庫開発ノウハウ、リーシング、倉庫運営における経験を提供する一方、JLG Capital は、不動産投資・開発のノウハウと現地市場の知見を生かし、事業機会の具体化に向けた現地開発基盤を提供するとともに、用地の確保や市場へのアクセス、関係者との調整、資金調達の支援を担います。また、冷凍・冷蔵倉庫や冷凍自動倉庫を含む物流・倉庫施設の投資・開発・所有・運営に関する潜在的なジョイントベンチャーの可能性についても、両社で協議していきます。あわせて、ジョホール・シンガポール経済特区（JS-SEZ）などの戦略的な成長プラットフォームの活用も視野に入れています。

両社は今後、本 MOU を枠組みとして、具体的なプロジェクトの評価・検討を重ね、協議を進めていく方針です。

■代表コメント

JLand Group グループマネージングディレクター Datuk Sr. Akmal Ahmad 氏

「私たちにとって不動産の未来とは、産業がどこで事業を営むかだけでなく、いかに効率的に事業を営めるかにかかっています。物理的な資産にとどまらず、適切なインフラ、テクノロジー、専門性を組み合わせることで、企業の効率性、レジリエンス、競争力の向上を支援していきたいと考えています。

霞ヶ関キャピタルグループとの協業は、まさにこの考え方を体現するものです。両社は、先進的な低温物流インフラがマレーシアの産業が抱える変化するニーズにどのように応えられるか、業務パフォーマンスの向上や、より付加価値の高い事業への移行をどのように後押しできるかを共に模索しています。

最終的に私たちが目指すのは、私たちが生み出す不動産・インフラソリューションが、それを利用する企業や人々により良い成果をもたらすことです。不動産の価値とは、単に開発する空間そのものにあるのではなく、その空間が産業や人々に、どのようなより良い活動を実現させるかにあると考えています。

」

霞ヶ関キャピタルマレーシア Director and Executive Chairman 本間 智宏

「マレーシアには、近代的でテクノロジーを活用したコールドチェーン・インフラに対する有望な機会があります。JLG Capital の強固な現地市場への理解と開発能力を、霞ヶ関キャピタルが培ってきた先進的な冷凍自動倉庫・冷凍冷蔵倉庫の開発・運営経験と組み合わせることで、両社で事業機会を検討するための強固な基盤を築けると考えています。本協業は、新たなノウハウやテクノロジーを不動産分野に取り込むパートナーシップを推進する JLG の方針を反映したものです。長期的な関係を構築し、共に価値を創出していくことを楽しみにしています。」

■当社現地法人 霞ヶ関キャピタルマレーシアについて

法人名	KASUMIGASEKI CAPITAL (MALAYSIA) Sdn Bhd
所在地	Sky Zone 1, Exchange 106, Lingkaran TRX, 55188, Tun Razak Exchange (TRX), Kuala Lumpur, Malaysia
事業分野	冷凍自動倉庫等の開発・運営ソリューションの提供

霞ヶ関キャピタルマレーシア：<https://kasumigaseki-my.com>

LOGI FLAG

(<https://logiflag.com>)

『LOGI FLAG』は、霞ヶ関キャピタルグループが展開する倉庫ブランドです。冷凍・冷蔵・常温の 3 温度帯に対応したマルチテナント型物流施設をはじめ、冷凍冷蔵倉庫や冷凍自動倉庫、危険物倉庫など、時代とお客様のニーズに沿った、環境にやさしく、新しい物流拠点を各地に提供していくことで皆様のビジネスと暮らしをサポートしてまいります。

本件・取材に関するお問い合わせ先

霞ヶ関キャピタル株式会社 PR 本部（Infrastructure PR 担当）
MAIL：PR@kasumigaseki.co.jp